

水辺環境の再生・創出

事例名	15. 河床コンクリート撤去、土砂・玉石の敷設
工事名	中島川環境整備工事
施行場所	長崎市伊良林1丁目
事業年度	平成14年度
実施機関	長崎土木事務所
適応可能な事業	河川

<具体的な環境配慮内容>

川底に張られたコンクリートを撤去し、自然に近い河床に戻すことにより、生物の生育・生息環境の回復を図った。

<環境配慮の目的と視点>

当河川は、低水路を設けて景観に多少の配慮をしていたが、川底はコンクリートで固められた三面張りの水路であり、多様な生物の生息生育環境としては好ましくない状態であったため、可能な限り川底のコンクリートを撤去し、多様な生物の生息生育域を創造するとともに、多くの人が親しめる潤いのある水辺空間の提供を目指した。

<環境配慮技術の概要>

河床勾配1/90の急流河川であり、河床洗掘を防止する必要があったため、アンカーで連結した置石を配置し、植生マットについてもアンカーで固定した。

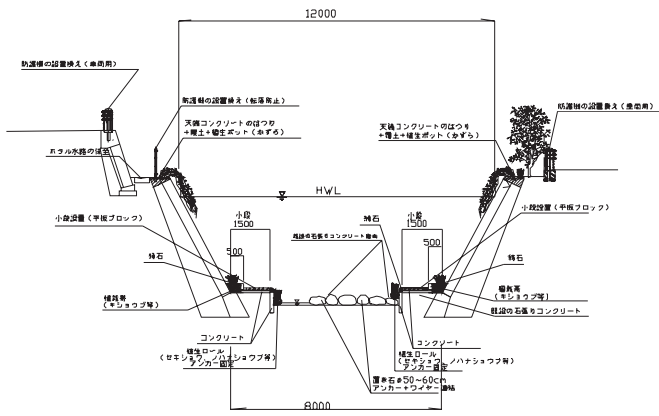
隣接する小学校の生徒達に「現況河川と将来のイメージ図」を作成してもらい、地域住民との川づくり協議の参考とした。



整備前



整備後



標準横断形状



施工中（置石設置状況）

< 環境配慮による効果 >

河床材を土砂や玉石とし水際に植生を施したことで、多孔質な水中環境及び陸域との連続性が確保され、多様な生物の生息生育環境としての改善がなされた。また、計画時点から地域住民のかたと協議し、共同で計画を策定したことにより、地域住民の河川への愛着も深まり、河川の美化意識も向上したのではないと思われる。

< 課題等 >

川の中に下りる階段が100mに1箇所程度しかないため、階段の増設の検討が必要である。
木陰などの休息できる空間創設の検討が必要である。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関